

AMCP レポート

創刊号



財務・資金 失敗例 【いきなりこんな税金を払えるか！】編

内科のA先生は、開業4年目の個人事業主で、毎年、「確定申告」をしています。しかし、会計事務所のスタッフに任せ切りなので細かいことはよく分かりません。

開業時、患者さんを集めるのに苦労したせいか、「売上」と「患者数」だけが気になります。今年も、例年同様、会計事務所の担当者から、「生命保険・損害保険の控除証明書を準備して下さいね」と、確定申告の必要資料の案内があり、忙しい合間を見つけて資料を整え送付しました。あとは、「還付金」を待つばかり…。

しかし…、後日やってきた担当者は、涼しい顔をして何事もなかったかのように、こう報告しました。

担当者：「先生、今年は100万円ぐらい税金を納めないといけませんね。それじゃ、こちらにハンコ頂けますか？」

A先生：「ちょっと待て！毎年“還付”だったのに、今年は何故いきなり100万円も税金を払うのか？」

担当者：「あ～、先生は4年目なので開業から繰越していた損失が使えないんです。

売上も上がってますし仕方ないですね。それじゃ、ハンコもらえます？」

A先生：「12月は賞与を支払い、1月は源泉納付した。

また、年末に節税になるからと備品をかなり購入したし、借入の返済もある…、

お金がない！こんな税金払えるか！事前に教えてくれていれば…」

担当者：「来年からそうします。それじゃ、ハンコ下さい」

A先生：「…！！」

※皆さん、このような経験はありませんか？

こうなる前に… 自院の経営に興味を持って下さい。任せても丸投げは「×」！！

A先生は、会計事務所の対応に非常に腹立だしい思いをされましたが、そもそもは、先生が「丸投げ」している事が原因です。普通は会計事務所から案内しますが、何の案内もしない事務所もありますので、そういう場合は、せめて、一回ぐらいは「今回は税金どのぐらいになりそうかな」と聞いておく必要がありましたね。

但し、直前に聞いても手の打ち様がないことも多いので、6ヶ月経過時点・9ヶ月経過時点の「納税予想」も聞いて下さい。

先生はクリニック経営の「主役」であり、各専門家は、あくまで先生の経営を支える「脇役」です。

先生の思い通りの経営をするために彼らを「使う」のです。「任せる」と「丸投げ」は全く違うのです。

★次回は…、「VoL.2」：財務・資金の失敗例 【節税しすぎてお金がない！！】編



をお送りします。

お問い合わせ・ご相談は…

AMCパートナーズ株式会社

〒541-0054 大阪市中央区南本町2-4-10

Tel:06-6262-2256/Fax:06-6262-2257

<http://www.amcp.biz>

info@amcp.biz